

令和6年度 ころーれキッズ川鶴利用保護者 放課後等デイサービス施設評価 集計結果

配布家庭数；18 回答数；10 割合；55%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備環境	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	1			施設内容について様々な形態で周知していく。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	8	2			施設の運営について、現職員でどのような体制を摂っているのかを説明していく。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	1			施設内容について様々な形態で周知していく。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	8	2			面談の計画を立てて実践する。
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	8	2			おたより等を通してどういった支援をしているのか発信していく。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	6			産業まつりの参加を継続していくために、どういったものを提供できるか話し合いをしていく。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7	3			面談の時点で説明項目に理解してもらえているかを確認する。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	9	1			施設での過ごし方や家庭での様子を聞き取り、双方で状況や課題を共有していく。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8	1	1		面談等を通じて必要に応じて、ペアレントトレーニングを行なうよう、関係機関と協議していく。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	3	5		父母会の開催の是非を含め、どういった連携ができるのか模索していく。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	3	1		苦情が発生した場合は速やかに共有して、事実確認と対処を検討する。状況に応じて本部対応も行なう。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7	2			意思を明確に汲み上げるため、方法を限定せず個々に合わせて情報伝達をしている。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	8	2			月1回のおたよりの発行を継続し、サイト上にも同様のものが閲覧できるように実施する。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	9	1			法人内で厳格に運用する。
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	5	4	1		必要に応じて提示できる形にしている。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3	6	1		防災訓練など、実施時にはおたより等で発信していく
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	9	1			登所した児童が楽しく過ごせる時間と場所を引き続き提供する。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	9	1		いつもありがとうございます。	普段の様子を発信したり、送迎の際のわずかな時間でも聞き取った意見等の共有をしている。